

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (多文化共生・多様性コース)			訪問国	ニュージーランド
学校名	掛川西高等学校	氏名	平澤一真	学年	3年

私は夏休みの1ヶ月間を利用して、ニュージーランドの音楽教育について学ぶために現地の高校に留学しました。部活動や音楽の授業を通じて、ニュージーランドの音楽教育の高さを実感しました。特に、日本と比較して生徒の自主性や創造性が重視される教育方針に驚かされました。ニュージーランドでは、音楽の授業が実践的であり、演奏や作曲の機会が多く提供されています。進路決定のタイミングが早いことや、地元の高校に自然な形で進学する仕組みも日本とは大きく異なり、地域との結びつきの強さを感じました。

留学中には、日本食をホストファミリーや他の留学生にふるまい、異文化交流を図りました。特にホストファミリーが日本食を喜んでくれたことが印象的でした。また、サクソで坂本龍一の「戦場のメリークリスマス」とバッハの曲を全校生徒の前で披露し、日本の音楽文化を広めることができました。その中で、音楽による人と人との繋げる力を改めて感じることもできました。

留学中に多くの人々に助けられ、ニュージーランドでできた友人たちとの関係を通じて価値観が大きく変わりました。食事や遊び方、生活の仕方まで、すべてが新しい経験であり、楽しいものでした。特に、友人たちとビーチでバーベキューをした日が印象深く、地元の食材を使った料理やビーチバレー、焚き火を囲んでの会話を通じて、ニュージーランドのリラックスしたライフスタイルを体験しました。それだけではなく、友人と夜の星空を見に散歩をしたのも思い出に残っています。これらの体験は自分に取り込まれ、モチベーションは常に高い状態を保つことができました。

私の探求活動は、音楽教育や学校体系の日本と海外の違いを探し、日本に活かせる点を見つけることが目標でした。しかし、ニュージーランドと日本の教育システムや理念は全く異なっていたため、想像していたものとは大きく異なりました。これが逆に新たな興味を引き起こし、ニュージーランドの教育方針や学習方法の柔軟性に感銘を受け、日本の教育にどのように応用できるかをさらに深く探求したいと思うようになりました。

今後の挑戦として、海外の大学に進学し、国際的に活躍する公認会計士になることを目指しています。異文化の中で学び、さまざまな背景を持つ人々と交流することで、国際的な視野を広げたいと考えています。最終的には、日本と海外を繋ぐ架け橋となり、グローバルなビジネス

シーンで活躍することを目指しています。

学校帰りにカフェに行った時の写真



学校でサッカーをした時の写真



パーティーをした時の写真



パーティーをした時の写真



ホームステイ先のすぐ近くにある広場の写真

